



第1・第3金曜日発行
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
http://www.dpj.or.jp/

号外
2005.6.12
門脇ふみよし政策特集号
民主党東京都第8区総支部
〒167-0043 杉並区上荻1-19-10-402



「民」のチカラで東京が変わる。 杉並発東京創造へ 門脇ふみよし政策特集号

民主党は、6月11日にJR高円寺駅北口にて街頭演説会を開催しました。当日は、7月の東京都議選、民主党公認「門脇ふみよし」候補予定者を中心に、海江田万里民主党東京都連会長、樋高剛民主党選挙対策委員長代理、両衆議院議員をはじめ、衆・参あわせて6名の国会議員がマイクを通して民主党の政策「TOKYO マニフェスト」を訴える熱い演説会となった。4月19日に開催された街頭演説会とあわせ、杉並区内各所で民主党公認「門脇ふみよし」候補予定者とともにより力強い訴えを行なった。



6月2日、門脇ふみよし地元集会にて岡田代表より力強い激励を受ける

民主党代表 岡田 克也

民主党は今年を、政権交代を確実にする大切な年と考えています。名実ともに民主党が国民の立場にたった政党であり、日本の舵取りを任せるに値する政党であるとの基盤を築き上げていくためにも、目前に迫った東京都議会議員選挙はたいへん重要であります。

門脇ふみよしさんは、これまで杉並区議として、6期22年間区政改革にまい進し、その行動力と実績は誰もが認めます。即戦力そして民主党の切り札として期待しています。日本の首都・東京から改革するためにも、門脇ふみよしさんの力が必要です。



6月11日、JR高円寺駅北口では、樋高剛民主党選挙対策委員長代理が良識ある選択をと力を込めた



蓮舫参議院議員は杉並に何度も足を運び、門脇ふみよしとともに街頭から訴えた

参議院議員 蓮 舫

出産、育児、仕事に介護。私と同世代の女性が抱える今そこにある不安。仕事を選んだから子どもを諦める。介護があるから仕事を辞める。そんな切ない選択肢しかない国を変えたくて私は昨年、国政に挑戦をしました。

地方分権の時代を迎えた今、政治は国会だけでなく、国政と都政、そして区政が縦で結び付いて初めて生活に「変化」をもたらすこととなります。

国会と東京都をつなぐ能力と行動力を持ち、私が最も信頼するのが門脇ふみよしさんです。重点政策を掲げ、日々街頭から語りかける誠実で真面目な人、門脇ふみよしさんを心より応援しています。



4月19日、JR阿佐ヶ谷駅南口では、川端達夫民主党幹事長が民主党の政策をぜひ選んで欲しいと訴えた

東京都議選民主党公認候補予定者の「門脇ふみよし」は、東京都政重点政策として「安全・安心の杉並！地震に強い都市づくり」「きれいな河川の実現」「障がい者の就労支援の推進」を掲げています。今号ではその政策を特集して紹介いたします。

安全、安心の杉並を！「地震に強い都市づくり」

1. 「倒れない家」、「燃えない家」で災害に強い街づくりを進めます。

6,430人の人命が失われた阪神・淡路大震災の被害者の80%が建物の倒壊や家具等の転倒・落下によるものでした。また、火災の延焼により被害も拡大しました。その教訓から建物の耐震性の向上、不燃化が必要です。特に緊急の課題である木造住宅密集地域の街づくりを推進し、災害に強い街をつくれます。

3. ライフライン・備蓄品等、災害後の区民生活を守ります。

水、電気、ガスは日々の生活に欠かせないものです。とりわけ、水の確保は重要です。昨年の新潟県中越地震の際、水道の復旧とともに避難所生活を送っていた方々の多くが自宅へ戻ったと言われています。現在、杉並区では飲料水は8万7千トン(全区民の54日分)が備蓄され、生活用水として区内の井戸1,200基を確保していますが、5万3千人にのぼると予想される杉並区の帰宅困難者は対策等も含め、水や食糧、生活用品等の備蓄品確保の再検討を行う必要があります。

2. 地域の防災ネットワークを確立します。

阪神・淡路大震災では、火災により被害が拡大しました。同時多発性・広域性を持つ地震火災は、従来の消防活動のみでは十分に対応できません。狭い道路が多い杉並区では、被害拡大の可能性が一層高くなると考えられます。被害を最小限にとどめるために、「自分たちの町は自分たちで守る」という観点で、地域防災ネットワークの強化につとめます。



杉並消防署の責任者から地域防災体制を真剣に聴く

4. 緑地や農地を保全します。

杉並区に残されている緑地や農地は、大地震時の火災延焼防止や避難地あるいは仮設住宅建設用地として重要な役割を担っています。区全体の土地利用計画を防災の観点から再検討し、保全緑地区域内の土地の先行取得や農地の生産緑地地区の指定を積極的に進めてまいります。

きれいな河川の実現

1. 下水道施設の改修による水質の改善を図ります。

降雨初期の汚濁水を河川に出さないようにするために、道路の地下や公園の地下を利用した貯留管や貯留池の整備を進めるとともに、下水道管路の清掃や雨水吐口からのごみ流出抑制装置の整備を促進します。また、河川沿いで下水道施設を含むインフラ整備を同時に行う大規模なまちづくりと連携して、部分分流を導入します。



善福寺川緑地公園
「せきれいばし」から上流を望む

2. 水循環により川の水量を確保します。

河川流域の浸透域の保全、雨水浸透の促進を図り、流域の地下浸透量を増加させるとともに、川床を自然化し地下水を湧水しやすくし、湧水の増加、平常時の水量を増加させます。

3. 親しめる河川を創ります。

川沿いの公園や緑地と一体的に整備し、水辺に降りて水遊びができるようなスペースや生き物が生息できる多様な水辺を再生、復活させます。

障がい者の就労支援の推進

1. 障がい者を雇用する事業者の拡大をめざします。

法定雇用率を遵守している企業を社会が積極的に評価・支援していくことにより、障がい者雇用に関する事業者の意識を高める取り組みを行います。

2. 個人の特性にあった就労準備訓練と事業者とのマッチングを充実させます。

一般の高校生でも何らかの訓練を受けなければ就職は困難。養護学校卒業後、個人の特性に応じた訓練を一定期間行うことにより、就労に向けた準備を行います。

3. 就労定着のための継続的な支援の充実・強化を図ります。

本人の悩みなどのほか、親の高齢化等の環境変化によっても、仕事の継続が困難になることが少なくありません。長期間、就労と生活の両面から支えていく施策の検討を行います。

4. 失敗を恐れず就労にチャレンジできる基盤を築きます。

就労が継続できなくなったときに、いつでも福祉施設に戻れるよう、受け皿整備や施設の経営体制の見直しを図り、就労に積極的に挑戦する風土づくりを進めます。

拉致問題は「誘拐」、人道問題です！

「門脇ふみよしは、「北朝鮮に拉致された日本人を救出する地方議員の会」のメンバーとして、地方議員一人ひとりの力を結集し政府を動かし、必ずや拉致事件を解決すべく今後も精一杯取り組みます。この姿勢は一貫して変わらない。」と真剣な表情でコメント。

